

可とう形エポキシ含有架橋エマルジョンフィラー

ニッペ DAN[®] フィラー リフレックス

高い躯体保護性能を持つ可とう形改修塗材REの
微弾性フィラーです!!

JIS A 6909 建築用仕上塗材
可とう形改修塗材RE主材

特長

- ① 微弾性**
微弾性を示し、従来の微弾性フィラーと比べて長期間、微弾性を維持できます。
- ② 高中性化抑制**
高い中性化抑制能力で、躯体の長寿命化に貢献できます。
- ③ 高密着力**
強い付着力で下地に密着。各種旧塗膜や上塗り材への密着にすぐれています。(エポキシ含有特殊反応硬化樹脂エマルジョン配合)
- ④ 高透湿性**
透湿性にすぐれています。また、内部結露やカビの発生・凍害などを抑えることができます。
- ⑤ 高外観**
塗膜表面はなめらかできめ細やかなので上塗りの仕上がりを引き立てます。

微弾性

経年後も、初期の微弾性を高く維持することができます。

ゼロスパンテンション試験(初期・加温後)

試験方法:初期と、80℃にて1週間加温後のゼロスパンテンション試験

	当社微弾性 フィラー	DANフィラー リフレックス
初期	0.9mm	1.2mm
加温後	0.3mm	0.6mm
性能維持率	30%	50%

※DANフィラーリフレックス塗付量 1.0kg/m²

※所定の仕様で塗装した試験体を、引張速度5mm/分で引張り、ピンホール発生時の引張幅を測定(テンション引張機による社内試験)

高中性化抑制

コンクリートの経年変化を抑えることができます。

促進中性化試験

試験方法:JIS A 1153に準ずるが、CO₂の濃度は10%とし、
温度/湿度は20℃/60%で実施



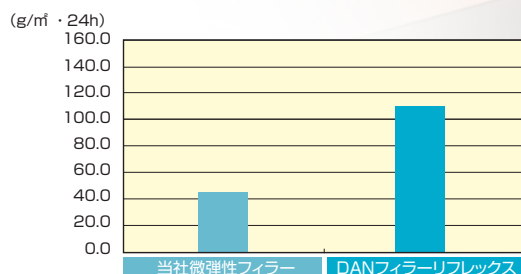
コンクリートを劣化させる要因として中性化があります。
DANフィラーリフレックスは、従来の微弾性フィラーと比較して中性化が進行していないことがわかります。

高透湿性

建物に必要な呼吸を確保することで、内部結露やカビの発生、凍害などを抑えることができます。

透湿性試験

試験方法:ASTM-E96 B法に準ずる



DANフィラーリフレックスは、従来の微弾性フィラーと比較して透湿性にすぐれていることがわかります。

性能表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材RE準拠

試験項目	規格	性能	
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合格	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと。	合格	
付着強さ N/m ²	標準状態	1.0以上(可とう形改修塗材RE)	合格
	浸水後	0.7以上(可とう形改修塗材RE)	合格
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び影れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格	
透水性B法(ml)	0.5以下	合格	
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格	
ひび割れ充てん性	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと。	合格	
耐候性A法	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格	
可とう性	ひび割れがないこと。	合格	

※製品安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

標準塗装仕様(塗り替え)

JIS A 6909可とう形改修塗材RE

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り (下塗り)	平滑	ニッペ DANファイラーリフレックス	1	0.30~0.60	4時間以上	水道水	3~6
	なみがた			0.80~1.30			0~3
上塗り	オーデフレッシュSi100III	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 ※塗り替えの場合で下地が弱い場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。
 ※旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。
 ※適用可能な上塗り塗料については、別表をご参照ください。
 ※上記の数値は、すべて標準的なものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
 ※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
 ※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
 ※特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に当社営業所までご相談いただきますようお願いいたします。
 ※その他、詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。

商品体系

商品名	容量	色相	つや	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回) (塗り面積/缶当たり/1工程)
ニッペDANファイラーリフレックス	16kg	白色	-	水道水	ウールローラー	ウールローラー
					砂骨ローラー	砂骨ローラー
					3~6	0~3 0.30~0.60 (26~53m ²)
						0.80~1.30 (12~20m ²)

適用上塗り塗料例

水性	アブラウドシエラスターII スーパーオーデフレッシュSi/F パワーオーデフレッシュSi/F オーデフレッシュシリーズ(U100II・Si100III・F100III)
弱溶剤	ファン4Fセラミック、ファインシリコンフレッシュ、ファインSi、ファインウレタンU100

※上記以外の適用についての詳細は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

適用下地

●コンクリート・モルタル・ALC面などの塗り替え改修用(アクリルリジン、吹付けタイル、その他旧塗膜)
 などの建築外壁用下塗り塗料

※新設計仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

ニッペ DANファイラーリフレックス 施工上の要点・注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

横倒禁止

1. ファイラーを薄膜仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
2. 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
3. 規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
4. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、葉葉サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、事前に最寄りの営業所までご相談ください。
 そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、事前に最寄りの営業所までご相談ください。
5. 機器および道具類の使用後は、そのまま放置しないですぐ水につけ、その後必ず水洗いしてください。塗料が付着したまま放置して乾燥しますと、こびりついて取れなくなります。
6. 塗り替えの場合で下地が弱い場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。
7. 旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。
8. 閉居後塗装するときは皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
9. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
10. 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
11. 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などが発生する場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
12. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
13. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
14. 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
15. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
16. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
17. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷み溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
18. シーリング面の上、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直してしてください。
19. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケト科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケト科学社製Hi500シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
20. 表面のごみ、ほこり、エプロン、セメント、レタスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
21. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントプライマー、ニッペプライマー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)
22. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
23. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エプロンセメントが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
24. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
25. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分にできず結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
26. 屋外での塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
27. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
28. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
29. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
30. シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
31. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
32. 塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。薄すぎは層への力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
33. 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
34. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈をせず塗してください。
35. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
36. 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
37. 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
38. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
39. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項(ニッペ DANファイラーリフレックス)

<ul style="list-style-type: none"> ・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を手入してください。 ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。 ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面罩を着用してください。 ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。 ・はく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断 / 手当てを受けてください。 ・気分が悪い時は、医師の診断 / 手当てを受けてください。 ・口をすすいでください。 ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けてください。 ・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。 ・ばく露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ・容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。 ・施設にて保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。 ・内容物 / 容器を廃棄するときは、国 / 地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ・容器、塗具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 <p><input type="checkbox"/> 詳細な内容、表示以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 <input type="checkbox"/> 本品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>
危険	危険有害性情報
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ / 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ 水生生物に有害 / 長期継続的影響によって水生生物に有害

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
 中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●Copyright 2021 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
 NP-Z027
 TY210503T
 2021年4月現在